

科目ナンバリング：USE-1-151-03/UTL-1-301-08

■授業の目的及び到達目標

本授業の目的は、教育課程がもつ社会的役割と機能及び意義、及び教育課程編成の原理と方法、学校・地域の実情に即した指導計画について理解することである。教育課程の社会的役割や機能及び学習指導要領の性格と各改訂の背景、及び教育課程編成の原理と方法、指導計画の重要性を理解できることが到達目標となる。

■授業計画

- 1 教育課程／カリキュラムとは何か
授業の進め方、評価方法等について年間を見通した計画を説明する。また、「教育課程」と「カリキュラム」の差異について解説する。
- 2 学習指導要領の位置付けと性格について
教育課程の国家的規準としての位置付け、創意工夫を促す大綱規準としての性格を理解する。
- 3 各時期における学習指導要領の要点（1）
1947年の試案、1951の部分改訂、抜本的改定であった1958改訂の背景・要点を理解する。
- 4 各時期における学習指導要領の要点（2）
量的拡大の1968年改訂、ゆとり政策への転換であった1977改訂の背景・要点を理解する。
- 5 各時期における学習指導要領の要点（3）
道徳改定の1989年改訂、総合的な学習の時間新設の1998年改訂の背景・要点を理解する。
- 6 各時期における学習指導要領の要点（4）
授業時数増加を図った2008年改訂、能動的学習への転換を図ろうとする2020年実施の学習指導要領の背景・要点を理解する。
- 7 カリキュラム・マネジメントとは何か
教育課程編成に関わるカリキュラム・マネジメントの考え方と手法について理解する。
- 8 教育課程をめぐる二つの思想
デュイに代表される経験カリキュラムとブルーナーによる教科カリキュラムについて理解する。
- 9 教育課程の社会的役割と機能
デュイのシカゴ大学附属実験学校での実践、パークストによるドルトン・プラン等から考える。
- 10 21世紀型スキルとは何か
PISAが測定する能力、コンピテンシー概念、汎用的能力について理解する。
- 11 教育課程編成の原理と方法
教育課程編成に関わるタイラーの原理、ブルームによるタキシノミー、スコープとシーケンス等について理解する。
- 12 教育評価
指導要録の性格と位置付け、学力評価の類型（戦前の認定評価、戦後の相対評価、到達度評価、目標に準拠した評価、個人内評価等）を理解する。
- 13 地域教育計画
戦後日本各地で見られた地域教育計画を手掛かりにし、学校・地域の実情に即した教育・指導計画を考える。
- 14 近代学校批判
カリキュラムの中立性確保の問題行動、イリッチによる脱学校論、フレイレの提唱する銀行型教育について理解する。
- 15 授業のまとめと定期試験
これまでの講義のポイントを整理し、定期試験を実施する。試験後、フィードバックとしての事後解説を総合的に行う。

■授業の方法

授業は基本的に講義形式で行うが、履修者は常に課題意識を持ち積極的に授業に臨むことが大切である。

■予習・復習

予習：学習指導要領等を使用して授業で扱うテーマに関して調べておく。
復習：授業内で配付したプリントを用いて授業の内容を再確認し理解を深める。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

試験70％と平常点30％（提出物や授業態度など）で総合的に評価する。

■教科書・参考書

教科書：特に使用しない。テーマに沿ったプリントを適宜配付する。
参考書：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編』文部科学省
『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説総則編』文部科学省

■関連する科目

教職関係科目の基盤となる講座である。教育原理、教職論、各教科教育法などが直接関連する科目である。